

「平成31年度 学力向上アクションプラン」

足立区立 扇 小学校 学校長：加納 和彦

	新 継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 <誰が、何を、どのように>	達成確認方法	達成目標（＝数値） <いつまで・何を・どの程度>
1	継 続	家庭学習の手引き発行	全学年 全員	年1回 (4月)	【取り組みのねらい・目的】 ・家庭学習を習慣化させる。 ・家庭の協力を促す。 ・宿題の提出率を担当が確認する。 ・提出できない児童は、その日の内に放課後等に課題を終了させてから下校させる。	宿題提出状況調査	・宿題提出率90%
2	継 続	朝学習 (パワーアップ タイム)	全児童 国語 算数 読書	毎週火(国語) 毎週水(読書) 毎週金(算数) 始業前10分	【指導者】担任 【ねらい】学習内容の復習・確認 【使用教材】漢字、文法、読解問題、短作文 計算プリント、読書・読み聞かせ等	単元テスト ・全校共通ソフト トに入力し毎月 確認する。	・単元テストで 正答率80%以上
3	継 続	補習教室 (A補習)	全学年・各教科	随時 休み時間 放課後 等	【指導者】各担任・専科 が中心 【ねらい】現在指導中単元の学習内容の定着 【使用教材】授業で使った教材・プリント等	定着度確認テストを9・12・ 2月に実施	2月の定着度確認テストで目標値を通過する 対象児童80%
4	継 続	放課後補習教室 (B補習 「扇チャレンジ」)	全学年 国語、算数	放課後	【指導者】各学年担当者(各担任・非常勤教員・ 管理職)が中心 【ねらい】個人カルテに基づき、主に前学年までの 内容でのつまずきの解消 【使用教材】・定着度テスト対応問題 ・次へのステップ ・ミニ作文ワーク(追加) ・東京ベーシックドリル 等	定着度確認テストを9・12・ 2月に実施	2月までに実施する定 着度確認テストで目標 値を通過する対象児童 80%
5	継 続	サマースクール ウィンタースクール スプリングスクール	全学年 算数・国語 各学年10名程度 正答率70%以下 を中心に。	夏休み期間中の 10日各70分 冬休み1日 春休み1日	【指導者】担任+専科等+管理職 【ねらい】 担任による少人数指導。 過去学年にさかのぼり、つまずきを解消する。 解けなかった問題の解き直しや授業で理解が 完全でない内容の補充問題を行う。 【使用教材】プリント教材・次へのステップ等	校内学力テスト	次回の校内学力テスト で正答率アップ

6	継続	かけ算九九検定	2年生以上	2年生 かけ算学習開始時～ 3年生以上 年間(4月～)	【指導者】各担任・専科・学習支援員等 学力向上委員会が各学年の担当を割り振り、完全習得をめざす。 【ねらい】かけ算を完全に習得(暗唱)させる。 【使用教材】かけ算九九チェックリスト	定着度確認テスト (対象児童)	2年生 2月末までに90%習得 3年生以上 6月末までに習得
7	継続・変更	漢字マスター	全学年	1年生 漢字学習開始時～ 2年生以上 年間	【指導者】各担任・専科・非常勤教員等 【ねらい】各学年の配当漢字を完全に習得。 【使用教材】漢字マスタープリント	漢字マスタープリント	・児童には「100点を取る」という目標設定 ・90%以上習得できた児童を各学級の8割以上にする。
8	継続・変更	読書・読み聞かせ活動	全学年	年間	【指導者】各担任・図書ボランティア等 【ねらい】読書習慣の定着・語彙の獲得・知的好奇心の涵養。 【使用教材】記録用カードに本の題名とページ数 *担任や図書ボランティアによる読み聞かせも含む	記録用カード	・1～3年 80冊/年 ・4～6年 6000頁/年 上記の数値を各学級の50%以上が達成する。
9	継続	今月の俳句	全学年	毎月 (月別テーマ)	【指導者】校長・各担任 【ねらい】表現力の向上、言語感覚を養う。 【使用教材】今月の俳句用紙 ・外部指導者による俳句の授業	・優秀作品を紹介及び校長室前廊下に掲示 ・優秀作品を葉に加工して授与	(各種コンクールに作品を応募) ・炎天寺一茶まつり ・きごさい俳句コンクール ・伊藤園新俳句等
10	新規	MIMによる指導の充実	1年 そだち指導	年間 国語・そだち 放課後補充学習 家庭学習	【指導者】1年担任、そだち指導員 【ねらい】MIMの確実な定着による基礎力向上。 【使用教材】「ことばのプリント」 *そだち指導においても語彙の不足している児童にMIMを活用した指導を取り入れる。	MIM 実施状況を毎月確認	1月に1stステージを1年の85%が達成
11	継続	学力向上委員会 活動 (SP表分析・個人カルテ作成)	教員	学力調査後 単元終了後	【体制】学力向上委員・管理職・学力定着指導員 【ねらい】・調査後自校採点や学力向上資料作成 ・SP表分析 ・個人カルテの作成等、 ・アクションプランの実施状況確認 ・年度末反省 *各学年で、単元テストのSP表分析も行う	学力向上委員会での検討・報告	・個人カルテ：調査終了後 ・SP表分析：調査終了時と単元テスト終了時